

八王子市と中央大学による共同研究
**「読書感想文および図書館利用実態に関する研究」の
公開成果報告会を開催**

市図書館部と中央大学文学部社会情報学専攻の研究チーム（代表者：小山憲司教授）による共同研究「八王子市における図書館整備および図書館関連教育の向上をはかること」は、平成29年（2017年）4月にスタートし、2年が経過しました。

このたび、研究テーマ「読書感想文および図書館利用実態に関する研究」の成果報告会を下記のとおり開催いたしますので、お知らせします。

記

- 1 開催日時** 7月6日（土）14時～16時
- 2 開催場所** 中央図書館（千人町3-3-6） 3階 視聴覚室
- 3 報告内容・報告者**
 - 「八王子市図書館を対象とした図書館評価のためのデータ分析・第2報」
中央大学大学院文学研究科博士前期課程2年
青木 優大（あおき ゆうた）
 - 「図書館利用データの利用者層・地域別分析」
中央大学国際情報学部教授 飯尾 淳（いいお じゅん）
 - 「図書館アンケート調査から見る利用状況と課題」
中央大学文学部兼任講師 長谷川 幸代（はせがわ ゆきよ）
 - 「読書感想文コンクール対象作品とその特徴—平成28年度および29年度中学校の部の比較を通じて—」
中央大学文学部教授 小山 憲司（こやま けんじ）

共同研究の内容は次の二点です。

（1）図書館利用実態に関するデータの分析

利用者満足度調査、地域別利用者数、年代別利用者数、貸出し状況等の総合的な分析を行うことで、効果的な図書館運営について検証を行います。

（2）読書感想文コンクールに寄せられる読書感想文の分析

毎年、八王子市内の小・中学生約4千人の応募がある読書感想文コンクールについて読書傾向分析を行い、効果的な読書活動の推進を図ります。